

編集後記

昨年7月6日、韓国の文在寅大統領は「新ベルリン宣言」を發して朝鮮半島の非核化と北朝鮮の体制保障、恒久的な平和体制づくりなどを打ち出し、南北間の対話と交流を呼びかけた。北朝鮮はこの呼びかけを黙殺してICBM級のミサイル発射実験や6度目の核実験を強行し、先制攻撃をもちらつかせるトランプ政権の強硬姿勢ともあいまって、朝鮮半島の緊張が極度に高まった。

その頃、いったい誰が、南北首脳会談（4月27日）に象徴される、今日のような和解と平和への気流の変化を予測しえただろうか。いまだ予断は許されないとはいえ、事態はおおむね「新ベルリン宣言」に示された道筋に沿って進みつつあるようにみえる。何よりも、戦争の危機が去って北東アジアの平和への足掛かりが築かれつつあることを心から歓迎したい。

だが、一方で、和解と平和への営みが過剰なまでのナショナルな感情の波に呑みこまれてしまい、そんな危うさを、いまの韓国に感じないわけにはいかない。核廃棄の代償として保障される北の体制とはいったい何か。ときならぬナショナリズムの高まりが、社会主義の名の下に専制と人権蹂躪を恣にしてきたこの体制の不条理を覆い隠し、忘れさせてしまいかねないことへの警鐘を怠るわけにはいかない。

*

*

本号は、ドイツの現代社会思想の名著として知られる *Civil Society and Political Theory* (MIT Press) の著者のお一人であるアラート (Andrew Arato) 氏にご寄稿いただいた。ポピュリスト運動・政権研究の貴重な貢献となる論文といえる。〈論潮〉が、まさに時代の潮流を読み解く論考として本誌のラインアップに定着するようになり、本号では〈論潮〉として2本の力作を掲載できた。時代のフォーカスをめぐる談論風発の誌面となることが期待される。事件から半世紀を経た「ソンミ村虐殺」を記録した『ヴェトナム戦争 ソンミ村虐殺の悲劇—4時間で消された村』の書評は、この悲劇の一筋縄ではいかない、多義的な性格が示されて興味深い。

今回も予定の発行日から遅れての発行となってしまうことに責任を痛感している。次号以降の遅れの回復に最善を尽くしたい。

(2018/4/25 文 京洙)

アジア・アフリカ研究

2018年 第58巻 第2号 (通巻428号)

2018年4月25日発行 機関購読料：年間15,000円

編集・発行人 文 京 洙

発行所 特定非営利活動法人
アジア・アフリカ研究所

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-17-10

Tel&Fax: 03 (3946) 1479

E-mail: aaken@bz01.plala.or.jp

URL: <http://www.aaij.or.jp/>

印刷所 三和印刷(株)
長野県長野市川中島町1822-1

本誌上で各論考の著者がその責任において述べた意見は、特定非営利活動法人 (NPO 法人) アジア・アフリカ研究所としての見解を表すものではありません。

The articles in *Quarterly Bulletin of Third World Studies* do not represent the views of The NPO Corporation Afro-Asian Institute of Japan (AAIJ). Responsibility for opinions expressed in them rests with their authors.